



みどり

8月号
令和2年7月30日
調布市立緑ヶ丘小学校
校長 鳥居 圭
E-mail
midorigaoka-sho@chofu-schools.jp

「コロナとともに生活する」とは～全校朝会の講話より～

校長 鳥居 圭

最近、東京都でコロナにかかったことが分かった人の数が増えています。

PCR検査といって、コロナかどうか分かる特別な検査がありますが、以前よりたくさんの方が検査を受けることができるようになりました。そのため、コロナにかかったことが分かった人の数も増えているのではないかと、という人もいます。

検査できる数が増えてきたことにもなって、みんなの身近な人にも、「熱が出た」や何かで、「ちょっと検査を受けたら」という指示をお医者さんたちから出される人が増えてくると思われます。

コロナの検査を受ける人は、念のため、その近くで生活していた人も、自宅待機、といって、学校や会社に、念のため行かないで、検査の結果を待ちましょう、ということになっています。

先日、校長先生の奥さんの職場でも、この「自宅待機」という人が出た、と聞いていました。奥さんはちょっとびっくりしていましたが、その人は1日待って、結局大丈夫だったことがわかり、今では職場に復帰しているそうです。

緑ヶ丘小学校でも、同じようなことが起こる可能性があります。

念のために検査しましょう、とか、自宅待機しましょうか、とお医者さんに言われ、学校を休んだり、早退する人が出てきたりするかもしれません。

もし、学年やクラスの中にそんな人が出てきたとき、皆さんはどんな態度で接しますか。

「あいつのそばにいとコロナがうつる」とか、「あいつに触っちゃったから消毒しようぜ」とか、言ったりやったりしてはいけませんね。

コロナにかかると病気になりますから、病気のもとを自分から遠ざけたい、という気持ちが働くことがあります。

でも、人間を困らせているのは、コロナウイルスですよ。

もしかすると、全くコロナとは関係のない理由で休んだのかもしれませんが。それなのに、まるで自分がコロナウイルスであるかのように陰口を言われる人の気持ちになって考えてください。自分は何も悪いことをしていないのに、もし友達に、お前コロナだろう、とか、コロナ菌が来た、などといわれたら、あなたはどんな気持ちになりますか。

自分が言われたり、されたりして嫌なことを、友達にしてはいけません。上学年は、相手の気持ちを考えて、たとえ自分にとっては大したことがなくとも、相手にとっては嫌だろうなあということも、言ったりやったりしてはいけません。反対に、その人はコロナが身近に発生して、不安な気持ちになっているかもしれません。そんな友達を逆に助けてあげようするような、優しい心をもってほしいと思います。

これまで人類が培ってきた知恵や連帯、団結力、思いやりの心などが今回、奇しくもコロナウイルスによって試されているような気がします。私たち大人も、子供の見本となるような言動を日頃から心がけていきたいものです。また、各御家庭におかれましては、夏休み中も引き続き健康、安全に十分留意いただければと思います。新学期、また元気な顔で登校する子供たちと会えることを楽しみにしております。

8月の行事予定

日	曜日	行事予定 ()は該当学年です。
1	土	土曜授業日
2	日	
3	月	個人面談⑧
4	火	個人面談⑨
5	水	
6	木	個人面談⑩ 給食終
7	金	終業式
8	土	夏季休業日始
9	日	
10	月	山の日
11	火	閉庁日
12	水	閉庁日
13	木	閉庁日
14	金	閉庁日
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	
21	金	夏季休業日終
22	土	
23	日	
24	月	始業式
25	火	給食始 心臓検診(1)
26	水	眼科検診(全)
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

生活目標

『生活リズムを整え、
元気に過ごそう。』



《夏休みの過ごし方について》

今年は、例年より短い夏休みとなります。来週「夏休みの過ごし方」についてのプリントを配布いたしますので、ご家庭で夏休みの過ごし方を確認してください。

今年は、手洗い、密を避けた行動、検温等健康観察（夏休み中も健康観察カードの記入を続けましょう）、熱中症予防など、気を付けることが、例年よりもたくさんありますが、有意義な夏休みとなるように健康・安全に注意して過ごしましょう。

《いじめ相談窓口》

いじめは、いじめを受けた子供の心に長く深い傷を残す行為です。調布市教育委員会では、いじめ防止対策基本方針の中で、「いじめを見て見ぬふりをせず、声を上げられる学校づくりを目指す」としています。本校では、道徳科授業の充実を図る等児童の豊かな心の育成を図るとともに、児童対象にいじめアンケートを6・11・2月に実施し、いじめに関する情報をいち早くキャッチするようにしています。また、5年生に対しては、スクールカウンセラーと全員の面談も行っています。尚、いじめに関する相談窓口も設けています。

○「いじめ相談窓口」 (担当教員) 山口・宇田

○「いじめ相談窓口」
(担当教員) 山口・宇田

○「セクシャルハラスメント相談窓口」
(担当教員) 副校長・宇田

○「不登校相談窓口」
(担当教員) 沖野・山口

○「特別支援教育相談窓口」
(特別支援教育コーディネーター)

山口・宇田・西川

☆各担当がおりますが、校長・副校長、その他の教員やスクールカウンセラーにも遠慮なくご相談ください。



《緑ヶ丘小学校と古関祐而さん》

緑ヶ丘小学校の校歌の作曲者は、かの有名な古関祐而さんです。古関祐而さんは昭和の音楽史を代表する人物であり、現在NHKで放送されている朝の連続テレビ小説「エール」の主人公のモデルでもあります。学校では当時の楽譜が大切に保管されています。校歌は、穏やかで繊細で誠実な古関先生の人柄がにじみ出てくるような優しいメロディーが紡がれています。

★★★8月25日 13:00～ 調布FMにて、本校の校歌について校長より説明する番組あり★★★